

令和8年度重要施策並びに  
事務概要について

兵庫県農林水産部

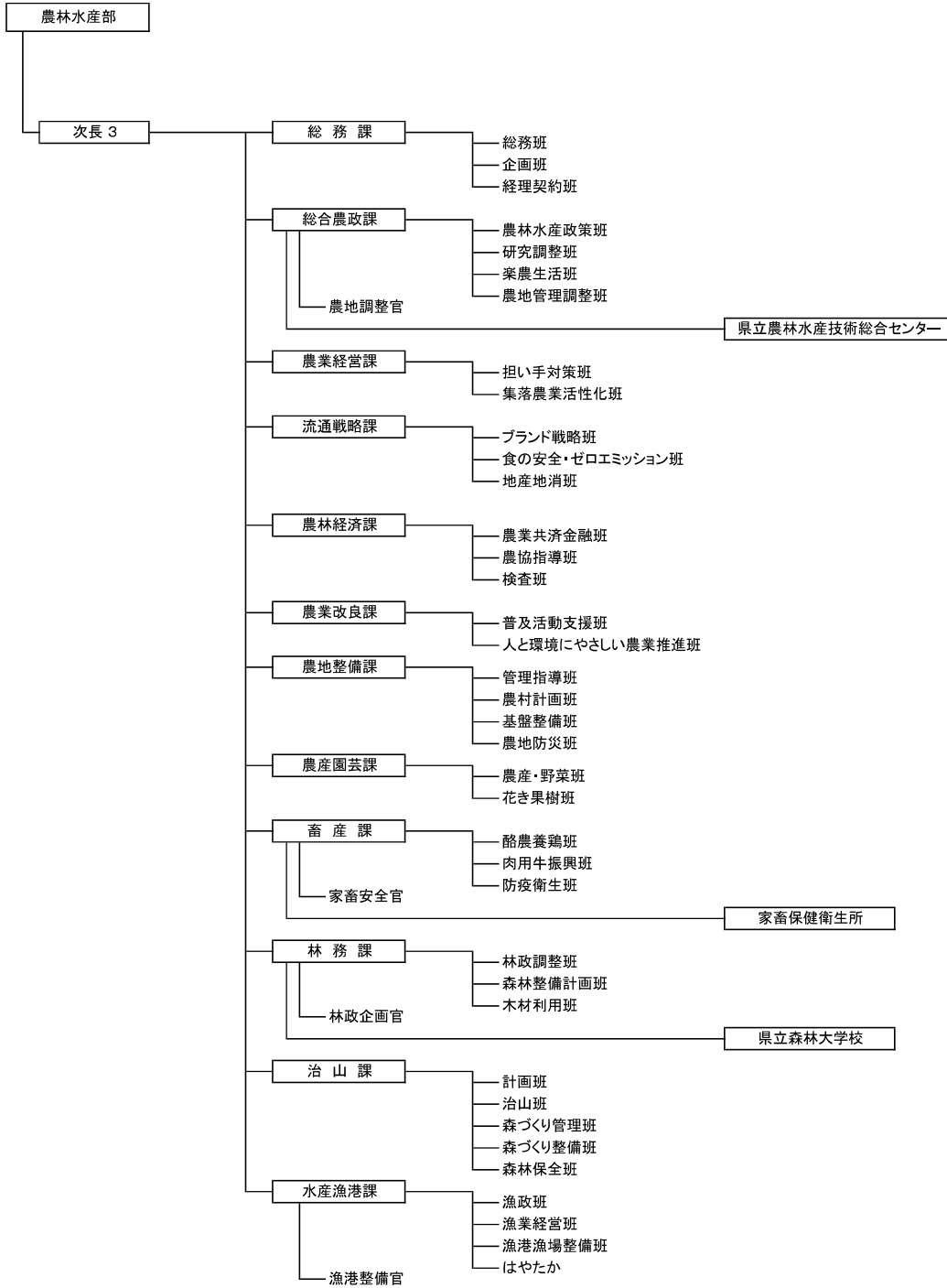
# 目次

1	組織図	3
2	職員数	4
3	令和7年度及び令和8年度当初予算額一覧表	6
4	令和8年度重要施策	7

## 参考資料

	分掌事務	14
	幹部職員名簿	33

1 組織図（令和8年4月1日現在）



## 2 職員数

(令和8年4月1日現在)

本庁・地方機関等(農林水産部関係)

課または地方機関名	職員数 (再任用含む)	職員数 (再任用除く)	職員数の内訳			再任用 職員数	再任用		
			事務職	技術職	技能労務職		事務	技術	技能労務職
	人	人	人	人	人	人	人	人	
総務課	25	25	21	4	0	0	0	0	
総合農政課	25	25	12	13	0	0	0	0	
農業経営課	17	17	4	13	0	0	0	0	
流通戦略課	19	19	7	12	0	0	0	0	
農林経済課	16	16	16	0	0	0	0	0	
農業改良課	15	15	3	12	0	0	0	0	
農地整備課	30	29	7	22	0	1	0	1	
農産園芸課	19	18	3	15	0	1	0	1	
畜産課	18	18	3	15	0	0	0	0	
林務課	31	29	4	25	0	2	0	2	
治山課	21	20	5	15	0	1	0	1	
水産漁港課	34	34	3	31	0	0	0	0	
本庁計	270	265	88	177	0	5	0	5	
県立農林水産技術総合センター	231	200	21	174	5	31	5	25	
姫路家畜保健衛生所	20	17	1	16	0	3	0	3	
朝来家畜保健衛生所	13	13	1	12	0	0	0	0	
淡路家畜保健衛生所	14	11	0	11	0	3	1	2	
森林大学校	11	10	2	8	0	1	0	1	
地方機関計	289	251	25	221	5	38	6	31	
合計	559	516	113	398	5	43	6	36	
派遣	ひょうご農林機構	25	19	8	11	0	6	1	5
	兵庫県土地改良事業団体連合会	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	25	19	8	11	0	6	1	5
農林水産部計	584	535	121	409	5	49	7	41	

県民局名	職員数 (再任用含む) 人	職員数 (再任用除く) 人	職員数の内訳			再任用職 員数 人	再任用		
			事務職 人	技術職 人	技能労務職 人		事務 人	技術 人	技能労務職 人
神戸県民センター									
神戸農林振興事務所 計	46	41	4	37	0	5	1	4	0
神戸農林振興事務所	16	14	3	11	0	2	1	1	0
神戸農業改良普及センター	14	13	0	13	0	1	0	1	0
神戸土地改良センター	7	7	1	6	0	0	0	0	0
六甲治山事務所	9	7	0	7	0	2	0	2	0
阪神北県民局									
阪神農林振興事務所 計	29	26	4	22	0	3	0	3	0
阪神農林振興事務所	18	16	4	12	0	2	0	2	0
阪神農業改良普及センター	11	10	0	10	0	1	0	1	0
東播磨県民局									
加古川農林水産振興事務所 計	31	26	4	22	0	5	0	5	0
加古川農林水産振興事務所	20	16	4	12	0	4	0	4	0
加古川農業改良普及センター	11	10	0	10	0	1	0	1	0
北播磨県民局									
加東農林振興事務所 計	68	59	7	52	0	9	3	6	0
加東農林振興事務所	20	18	3	15	0	2	1	1	0
加西農業改良普及センター	20	18	0	18	0	2	0	2	0
加古川流域土地改良事務所	28	23	4	19	0	5	2	3	0
中播磨県民センター									
姫路農林水産振興事務所 計	57	47	5	42	0	10	1	9	0
姫路農林水産振興事務所	29	27	5	22	0	2	0	2	0
姫路農業改良普及センター	15	12	0	12	0	3	0	3	0
姫路土地改良センター	13	8	0	8	0	5	1	4	0
西播磨県民局									
光都農林振興事務所 計	74	68	7	61	0	6	1	5	0
光都農林振興事務所	37	36	6	30	0	1	0	1	0
光都農業改良普及センター	11	10	0	10	0	1	0	1	0
龍野農業改良普及センター	13	11	0	11	0	2	0	2	0
光都土地改良センター	13	11	1	10	0	2	1	1	0
但馬県民局	117	112	15	97	0	5	1	4	0
豊岡農林水産振興事務所 計	65	64	9	55	0	1	0	1	0
豊岡農林水産振興事務所	24	24	6	18	0	0	0	0	0
但馬水産事務所	10	10	2	8	0	0	0	0	0
豊岡農業改良普及センター	12	12	0	12	0	0	0	0	0
新温泉農業改良普及センター	10	9	0	9	0	1	0	1	0
豊岡土地改良センター	9	9	1	8	0	0	0	0	0
朝来農林振興事務所 計	52	48	6	42	0	4	1	3	0
朝来農林振興事務所	32	31	5	26	0	1	0	1	0
朝来農業改良普及センター	12	10	0	10	0	2	0	2	0
朝来土地改良センター	8	7	1	6	0	1	1	0	0
丹波県民局									
丹波農林振興事務所 計	49	43	7	36	0	6	1	5	0
丹波農林振興事務所	23	21	5	16	0	2	1	1	0
丹波農業改良普及センター	16	14	0	14	0	2	0	2	0
篠山土地改良事務所	10	8	2	6	0	2	0	2	0
淡路県民局									
洲本農林水産振興事務所 計	80	78	7	71	0	2	0	2	0
洲本農林水産振興事務所	29	28	6	22	0	1	0	1	0
南淡路農業改良普及センター	16	16	0	16	0	0	0	0	0
北淡路農業改良普及センター	11	10	0	10	0	1	0	1	0
洲本土地改良事務所	24	24	1	23	0	0	0	0	0
県民局・県民センター 計	551	500	60	440	0	51	8	43	0
農林水産部・県民局 総計	1,135	1,035	181	849	5	100	15	84	1

### 3 令和7年度及び令和8年度予算額一覧表

(単位:千円)

区 分		令 和 7 年 度 当 初 予 算						令 和 8 年 度 当 初 予 算					
		金 額	財 源 内 訳				金 額	財 源 内 訳					
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源		
農 林 水 産 部	一般会計	人件費	8,793,588	50,731	0	443,500	8,299,357	9,174,643	49,366	0	446,100	8,679,177	
		事業費	96,047,685	21,733,365	22,133,115	9,938,700	42,242,505	72,463,533	24,765,758	23,300,828	8,972,600	15,424,347	
		計	104,841,273	21,784,096	22,133,115	10,382,200	50,541,862	81,638,176	24,815,124	23,300,828	9,418,700	24,103,524	
	特別会計	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費	36,707,863	3,000	36,538,236	0	166,627	9,721,718	2,200	9,551,547	0	167,971	
		計	36,707,863	3,000	36,538,236	0	166,627	9,721,718	2,200	9,551,547	0	167,971	
	合 計	人件費	8,793,588	50,731	0	443,500	8,299,357	9,174,643	49,366	0	446,100	8,679,177	
		事業費	132,755,548	21,736,365	58,671,351	9,938,700	42,409,132	82,185,251	24,767,958	32,852,375	8,972,600	15,592,318	
		計	141,549,136	21,787,096	58,671,351	10,382,200	50,708,489	91,359,894	24,817,324	32,852,375	9,418,700	24,271,495	

## 4 令和8年度重要施策(ひょうごの「農」2026より抜粋)

### 第3部 | 2026年度施策の概要

#### ① ひょうご農林水産ビジョン 2035 施策体系と 2026 年度予算

【めざす姿】	【基本方向】	【推進項目】	【推進方策】
次代につなぐ環境と調和のとれたひょうご五国の農林水産業・農山漁村	1 収益性の高い農林水産業の実現 36,947 百万円	1 人と環境にやさしい農業の推進と地域の特色・立地を活かした農業の展開 (7,306 百万円)	Ⅰ 人と環境にやさしい農業の推進 Ⅱ 生産性向上による競争力強化 Ⅲ 次代を担う経営力の高い担い手の確保・育成 Ⅳ 人材の確保に向けた環境の整備 Ⅴ 地域・担い手のニーズに応じた農地整備 Ⅵ 農地の確保と効率的な利用の促進 Ⅶ 都市農業の推進
		2 需要に応える持続可能な畜産業の推進 (604 百万円)	Ⅰ 環境と調和のとれた畜産技術の推進と持続可能な畜産業の実現 Ⅱ 畜産業の担い手の確保・育成 Ⅲ 需要に応じた神戸ビーフの供給
		3 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大 (23,512 百万円)	Ⅰ 森林資源の循環利用と林業経営の効率化 Ⅱ 森林経営管理制度の推進と森林の多面的機能への県民の理解醸成 Ⅲ 次代を担う林業就業者の確保・育成 Ⅳ 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化
		4 豊かな海と持続的な水産業の実現 (1,946 百万円)	Ⅰ 豊かな海の再生 Ⅱ 海域環境の変化に対応した水産資源の適正管理と水産技術の開発・普及 Ⅲ 漁業の担い手の確保・育成と経営力の強化
		5 ブランド力を活かした攻めの農林水産業の展開 (535 百万円)	Ⅰ ブランド化による付加価値向上 Ⅱ 国内外での販路開拓による経営体の収益力の向上 Ⅲ 県産農林水産物の新たな価値の創出
		6 食の安全を支える生産体制の確保 (3,043 百万円)	Ⅰ 適正な生産・監視体制の推進 Ⅱ 重大家畜伝染病の発生・まん延防止
	2 にぎわいのある農山漁村の創出 24,320 百万円	7 農山漁村コミュニティづくりによる地域資源の管理 (6,066 百万円)	Ⅰ 地域協働体制を担う多様な人材の確保 Ⅱ 野生鳥獣の捕獲や被害対策に向けた体制づくり Ⅲ 良好な空間の保全 Ⅳ 都市と農林水産業・農山漁村の交流による地域活性化
		8 地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出 (410 百万円)	Ⅰ 地域資源の活用などの実践活動の推進 Ⅱ バイオマスの利用拡大を通じた地域資源の活用
		9 農山漁村の防災・減災対策の推進 (14,667 百万円)	Ⅰ ため池災害等の未然防止と避難対策 Ⅱ 山地防災・土砂災害対策の推進 Ⅲ 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進
		10 豊かな森づくりの推進 (3,177 百万円)	Ⅰ 森林の適正管理による公益的機能の維持・向上 Ⅱ 森林の防災機能の強化(県民緑税の活用) Ⅲ 森林病害虫対策の推進と保安林制度等の適正運用 Ⅳ 県民総参加による森づくりの推進
3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実 1,875 百万円	11 「農」と多様な分野との連携強化 (458 百万円)	Ⅰ 農福連携の取組拡大 Ⅱ 観光・環境等分野との連携強化 Ⅲ 食農教育の推進	
	12 県民とのつながりで育む食と「農」 (199 百万円)	Ⅰ 県産県消の推進 Ⅱ 農林水産業・農山漁村への県民の理解醸成 Ⅲ 楽農生活の推進	
	13 県民への安定的な食料供給 (1,218 百万円)	Ⅰ 卸売市場を通じた安定供給の確保 Ⅱ 生産から消費を結ぶ仕組みづくり Ⅲ 消費者の信頼の確保	

※予算額は10万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

## ② 2026年度の重要施策

### 施策展開方向

環境と調和のとれた持続可能な農林水産業・農山漁村を実現すべく、都市近郊の立地や多様な自然環境などの強みを活かし、県民が一堂に「農」のめぐみを楽しむことができる豊かな暮らしを次世代につなぐ取組を推進します。

このため、コスト構造の改革に加え、環境負荷の低減や、有機農業の担い手育成、スマート農業技術の普及・定着、気候変動に対応した技術開発や普及に取り組むとともに、副業等も含め多様な人材の地域農業への関わりを創出することにより持続可能な地域づくりを推進します。

また、資源循環型林業の推進や森林の公益的機能の維持・向上と併せて県民の理解醸成を図るほか、豊かな海を再生する取組や担い手の確保・育成と経営力の強化、イカナゴの肥育放流や播磨の養殖マガキの不漁に対する支援等を進め、持続的な水産業の実現を推進します。

さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大していくために、地域に人を呼び込む取組や、生産者と消費者が支え合う関係づくり、県産有機農産物等の学校給食での活用等を推進し、消費者理解の醸成を図ります。

大項目		取組内容の項目
1	人と環境にやさしい農業の推進	①人と環境にやさしい農業の取組拡大
		②有機農業の担い手育成の強化
		③人と環境にやさしい農業で育まれた農産物の流通・販売等の拡大
2	生産性向上による競争力の強化	①スマート農業技術普及の核となる人材育成等の推進
		②持続可能な地域農業の実現に向けた「農地整備」の推進
3	気候変動に負けない農業生産体制の確立	①水稲オリジナル品種の開発・普及と革新的な技術の導入推進
		②野菜等の高温対策技術の実証・普及の推進
		③渇水・高温に対する支援
4	多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革	①「地域計画」の実現に向けた取組の推進
		②新規就農者の確保・育成支援
5	需要に応える持続可能な畜産業の推進	①但馬牛の生産拡大による神戸ビーフの供給力強化
		②持続可能な畜産業の実現
		③耕畜連携の推進
6	重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底	○飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築
7	資源循環型林業の推進と木材利用の拡大	①主伐・再造林の推進
		②市町支援による森林経営管理制度の推進
		③次代を担う林業就業者の確保・育成
		④県民・企業への理解醸成による県産木材の利用拡大
8	県民総参加による豊かな森づくりの推進	①「災害に強い森づくり(第5期対策・第4期追加対策)」の推進
		②社会全体で支える森づくりの推進
9	豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化	①豊かな海を再生する取組等の推進
		②担い手の確保・育成と経営力の強化
		③漁村の活性化に向けた「海業」の推進
10	ブランド力を活かした国内外での販路開拓	①県内での取組支援
		②国内での販路拡大支援
		③海外向けプロモーション等の展開
11	特色を活かした活力ある地域づくりの推進	①農村RMOの取組促進 ②定住・二地域居住の促進や半農半Xの実践者の拡大
12	ため池災害等の未然防止と避難対策の推進	①ため池の適正管理の推進と防災工事等の実施
		②減災・避難対策の推進
13	県民とともに育む豊かな食と「農」の充実	①農福連携の取組強化
		②学校給食での県産食材の利用促進と食農教育の推進
		③生産者と消費者が互いに支えあえる関係づくりの推進

## 重要施策1 人と環境にやさしい農業の推進

人と環境にやさしい農業の取組拡大に向け、環境負荷低減技術の実証・普及と県民への広報及び有機農業の担い手育成を進めるとともに、流通体制の構築を図ります。

### 取組内容

#### ① 人と環境にやさしい農業の取組拡大

人と環境にやさしい農業・農村振興条例の制定を契機として、農業者が取り組みやすい環境負荷低減技術を実証し、普及するとともに、広く県民に応援してもらえるよう広報等を実施

#### ② 有機農業の担い手育成の強化

県立農業大学校に有機農業アカデミーを開講し、「経営として成り立つ」有機農業の新たな担い手育成のため、栽培実習に加え、先進農家や流通事業者と連携した経営・流通の講義等により、円滑な就農と販路開拓を支援

#### ③ 人と環境にやさしい農業で育まれた農産物の流通・販売等の拡大

有機農産物等を、県民にとってより身近なものとするため、出荷コスト・労力を削減し、消費者が量販店等で日常的に購入できる効率的な出荷・流通モデルの構築を支援



人と環境にやさしい農業の定義

## 重要施策2 生産性向上による競争力の強化

農作業の省力化や作業軽減等による生産性の向上を図るため、スマート農業技術の導入を支援するとともに、農地の大区画化や排水改良などを進めます。

### 取組内容

#### ① スマート農業技術普及の核となる人材育成等の推進

専門家による産地とスマート農業技術のマッチング、各地域で技術普及の核となる人材の育成、県独自のスマート農業技術の開発・普及を推進  
中小規模の農業者ではスマート農業機械の購入は過剰投資となることから、共同利用の推進や、スマート農業機械を活用する農業支援サービス事業体を育成

#### ② 持続可能な地域農業の実現に向けた「農地整備」の推進

地域計画に基づき担い手への農地の集積・集約化を推進するほか、「農地整備10箇年推進プログラム」に基づき、大区画化・パイプライン化などスマート農業の導入に対応した農地整備や、畑作物導入を促進する暗渠排水工（農地の排水改良）を実施



農地整備による稲作労働時間の短縮

## 重要施策3 気候変動に負けない農業生産体制の確立

高温に対応した品種の開発や、安定生産に向けた技術の実証・普及を図るとともに、干ばつ被害防止のための農業者への支援を進めます。

### 取組内容

#### ① 水稲オリジナル品種の開発・普及と革新的な技術の導入推進

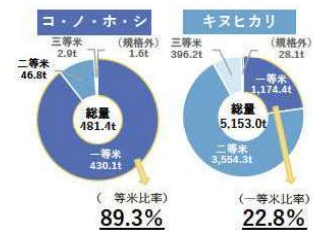
高品質な米の安定生産を図るため、水稲新品種「コ・ノ・ホ・シ」の普及と、ヒノヒカリに替わる新品種の令和10年の一般栽培開始に向けた試験栽培の実施など、高温耐性品種の開発を促進するとともに、生産性向上につながる革新的な生産コスト低減・省力化技術の導入を推進

#### ② 野菜等の高温対策技術の実証・普及の推進

高温や渇水の影響による野菜等の収量減少や品質低下等の被害を防止し、安定生産を図るため、産地単位で高温対策技術等を実証・普及

#### ③ 渇水・高温に対する支援

渇水時等も営農が継続できるように、ポンプの設置・運転などによる用水の応急確保に取り組む農業者を支援



コ・ノ・ホ・シとキヌヒカリ（従来品種）の1等米比率【令和7年12月末現在】

## 重要施策4 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革

地域計画の実現に向けた取組支援や、担い手確保を進めるとともに、就農支援の強化を行い、持続可能な地域農業を支える体制づくりを推進します。

### 取組内容

#### ① 「地域計画」の実現に向けた取組の推進

本庁・県民局に設置した部局横断のチームによる農地・担い手関連施策の地域への一体的働きかけや、市町担当職員研修を実施

担い手が不足する地域への外部人材の呼び込みに加え、区域をまたぐ担い手への円滑な農地の集積・集約化につながる計画の広域化など実効性のある計画へのブラッシュアップを促進

## ② 新規就農者の確保・育成支援

就農支援センターによる就農相談から就農後の定着まで一貫した支援に加えて、経営継承に係る相談・指導を実施

稲作の担い手を確保・育成し、県産米の安定供給・集落の維持を図るため、就農希望者（雇用就農や兼業・副業を希望する者を含む）が、地域の親方農家の指導の下で稲作経営の知識・技術を実践的に学ぶことのできる研修を実施



地域計画の話し合い（福岡町）

## 重要施策5 需要に応える持続可能な畜産業の推進

空き牛舎等の既存資源を活用した新規就農者とのマッチング機会の創出などにより、但馬牛繁殖雌牛の増頭を図るとともに、気候変動等への対応技術や生産性向上に向けた機器の導入等を支援します。

### 取組内容

#### ① 但馬牛の生産拡大による神戸ビーフの供給力強化

「畜産参入支援センター」で但馬牛生産者などを対象に今後の牛舎や用地活用の意向を調査し、その所有者や後継者や就農希望者、規模拡大意欲のある生産者とのマッチングの機会を増やすとともに、新たに必要となる牛舎整備や改修を支援

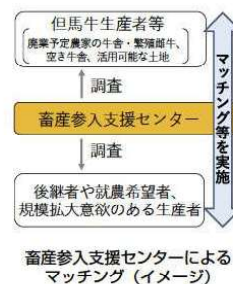
また、乳牛への受精卵移植に加え、繁殖データを分析・調査し、分娩間隔の短縮に向けた取組を推進

#### ② 持続可能な畜産業の実現

温室効果ガスの低減や暑熱対策に向けた取組を推進するとともに、特に酪農業の生産性向上を図るため、スマート機器の導入支援や「ゲノミック評価検査」を活用した長命連産能力に優れた牛群への転換を促進

#### ③ 耕畜連携の推進

飼料や肥料の価格が高止まりしている中、輸入依存度の低減のため、飼料増産や家畜堆肥の利用に係る機械・設備の導入を支援



## 重要施策6 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底

高病原性鳥インフルエンザや、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫の発生予防対策と発生時のまん延防止対策をより一層強化します。

### 取組内容

#### ○ 飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築

農場への立入指導による飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、発生リスクの低減のための施設整備を支援し、発生予防対策を強化

農場毎防疫作業計画をより実効性のある内容に高め、早期通報の徹底や防疫訓練によりまん延を防止



アフリカ豚熱防疫演習  
（模擬イノシシ死体の運搬）

## 重要施策7 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大

主伐・再造林の推進や森林経営管理制度の推進に向けた市町支援の強化に加え、担い手の確保・育成や企業等への理解醸成による県産木材の利用拡大に取り組めます。

### 取組内容

#### ① 主伐・再造林の推進

主伐後の再造林などに係る所有者負担を軽減するため、J-クレジットや企業版ふるさと納税など森林に資金が循環する仕組みを通じて主伐・再造林を推進

#### ② 市町支援による森林経営管理制度の推進

分収林契約の解約地を中心に、森林経営管理制度による森林の公的管理を推進するため、県と（公社）ひょうご農林機構による兵庫県森づくり支援センターの枠組みにより、市町支援を強化

#### ③ 次代を担う林業就業者の確保・育成

社会人向けの森林・林業入門講座等による担い手の確保や、小学生の自然学校での体験プログラムを作成し楽しみながら森林・林業を学べる機会を設け、林業が将来の仕事の選択肢となるよう取組を展開

#### ④ 県民・企業への理解醸成による県産木材の利用拡大

県産木材の魅力や利用の社会的意義を知っていただけるよう、木材団体等と連携したイベント出展、異業種・異分野とのコラボによる多様で新たな価値の創出や情報発信、民間企業との建築物木材利用促進協定の締結を進めるなど、県民・企業への理解醸成を図る取組を展開



炭素吸収源対策に貢献する主伐・再造林の取組（朝来市）

## 重要施策8 県民総参加による豊かな森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による被害の甚大化・頻発化や、野生動物被害の深刻化を踏まえ、県民緑税を活用し森林の防災機能を強化するとともに、県民や企業が参画する森づくりを推進します。

### 取組内容

- ① 「災害に強い森づくり（第5期対策・第4期追加対策）」の推進  
手入れ不足の人工林を中心に流域全体を一体的に整備できる「流域の森整備」を新設するとともに、六甲山系周辺の災害の発生しやすい区域までエリアを広げて「都市山防災林整備」を強化
- ② 社会全体で支える森づくりの推進  
水資源の涵養や山地災害の防止など森林が有する多面的機能への理解を深めるため、ひょうご里山フェスタ等のイベントや高校生向け出前講座の実施などの取組を推進  
森林ボランティアの次世代リーダーの育成や、企業の取組についてフォーラム等を通じて紹介することで、すべての世代や企業による森づくり活動を支援



森林の多面的機能に関する出前講座  
(神戸甲北高校)

## 重要施策9 豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化

漁業者による豊かな海を再生する取組の支援や、資源回復等に向けた技術の開発・調査研究を推進するとともに、担い手の育成と経営力強化を進めます。

また、漁村の活性化を図るため、漁港の多様な利活用に向けた取組を推進します。

### 取組内容

- ① 豊かな海を再生する取組等の推進  
漁業者による海底耕うんや海底への施肥など、藻場や浅場を維持・回復する取組を支援  
イカナゴの肥育放流に対する支援、アサリ等の種苗生産・放流やマガコの量産技術開発に加え、環境の変化に対応したノリの品種開発、播磨の養殖マガキの不漁の原因解明や新たな養殖手法の調査研究等を実施
- ② 担い手の確保・育成と経営力の強化  
漁業後継者を確保するため、漁船等の貸与制度により、新規漁業就業者等の設備投資の負担を軽減するとともに、新規漁業者の現場研修を支援  
収益性の高い漁業経営を実現するため、スマート機器の導入を推進するとともに、高鮮度保持設備や省力化機器等を貸与
- ③ 漁村の活性化に向けた「海業」の推進  
漁港施設を活用し、海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進するため、認定事業者が決定した丸山漁港で漁港施設修繕等の支援を行うとともに、居組漁港では活用推進計画の策定と事業者公募に向けた取組を推進



イカナゴの肥育試験の囲い網 (淡路市)

## 重要施策10 ブランド力を活かした国内外での販路開拓

経営体の収益力の向上に向け、県産農林水産物の国内需要の創出や、海外向けプロモーションなど販路拡大の取組を一体的に進めます。

### 取組内容

- ① 県内での取組支援  
量販店での「兵庫県認証食品コーナー」の設置、実需者と生産者のマッチング、ECサイトを活用した販路開拓の支援を通じ、兵庫県認証食品の認知度向上及び販路拡大を推進
- ② 国内での販路拡大支援  
フィールドバピリオン関連の県産食材を使用したグルメフェアを全国展開の飲食店で開催するとともに、万博のSDGsの理念を踏まえ、事業者と共同で規格外品等を活用したメニューを開発
- ③ 海外向けプロモーション等の展開  
アジアやEUにおける現地バイヤー等への営業活動、海外バイヤーが集まる商談会への出展支援、海外の日本酒バイヤーを県内酒蔵に招いた商談会の開催支援、輸出商社等と連携した人材育成等により販路を拡大



海外バイヤーと県内酒蔵のマッチング  
(加西市)

## 重要施策 11 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

農村地域の農業生産活動や集落維持機能を下支えする農村 RMO の創出を支援するとともに、定住・二地域居住を促進する取組を進めます。

### 取組内容

#### ① 農村 RMO の取組促進

農村 RMO の形成を促すため、スキル習得の研修会でリーダーとマネージャー（地域運営の企画・管理等）を養成するとともに、多様な主体と連携し、地域の将来ビジョン策定へ助言する等、効果的な伴走支援を実施  
小規模集落が多い本県の地域状況を踏まえ、中山間地域のみならず、平地地域におけるモデル形成を支援



農村 RMO 「地域マネジメント  
人材育成講座」(神戸市)

#### ② 定住・二地域居住の促進や半農半 X の実践者の拡大

「農」に携わる多様な人材確保のため、中間支援組織の取組拡大や田舎暮らしの充実に向けた農園整備支援、兵庫楽農生活センターにおいてライフスタイルやレベルに応じた農業技術・知識を学ぶ研修を実施し、地域農業を下支えする半農半 X の実践者や援農ボランティア等を育成

## 重要施策 12 ため池災害等の未然防止と避難対策の推進

頻発化・激甚化する豪雨に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災・避難対策を推進します。

### 取組内容

#### ① ため池の適正管理の推進と防災工事等の実施

決壊すると人命・財産に被害を及ぼすおそれがある特定ため池（約 8,600 箇所）を対象に定期点検を実施  
早急な防災対策が必要と判定され優先度の高い 448 箇所について、改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施



ICT の活用によるため池遠隔監視  
(淡路市)

#### ② 減災・避難対策の推進

ため池の治水活用による減災対策や、水位計・カメラによるため池遠隔監視など ICT 機器を活用した避難対策を推進

## 重要施策 13 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

福祉、教育などの多様な分野との連携を強化するとともに、CSA の手法を用いた取組の支援やごはん食の啓発など農林水産業に対する消費者への理解醸成を図ります。

### 取組内容

#### ① 農福連携の取組強化

農福連携の取組拡大やマッチングを促進するため、実務的な助言ができる人材を育成する「農福連携技術支援者育成研修」を行うとともに、スキルアップのためのフォローアップ研修やネットワーク会議での優良事例の共有等を実施

農福連携に取り組む農業者に対して知識習得や農機具等の導入を支援し、農福連携モデルを育成

#### ② 学校給食での県産食材の利用促進と食農教育の推進

県産農林水産物を安定的かつ継続的に供給できる仕組みづくりのため、生産者による安定生産が可能な品種選択等のための試験栽培を支援するとともに、生産者と学校給食との調整を行うコーディネート事業者を支援し、栄養教諭等の負担を軽減する体制を構築

県産県消や有機農産物の価値を理解できるよう、アドバイザー派遣や栄養教諭向けセミナー、生産者による出前授業などを通じて食農教育を支援



生産者による学校給食での食農教育  
(南あわじ市)

#### ③ 生産者と消費者が互いに支えあえる関係づくりの推進

生産物の定期的・継続的な取引を行う CSA の手法を用いた取組を支援するとともに、市民農園やひょうごオープンファームなどの開設や改修を支援

子どもから大人まで幅広い層に米やごはん食の重要性について理解を促進するため、フォーラムの開催や未就学児を対象としたかまど炊飯体験、部活動を行う高校生を対象とした補食によるごはん食の啓発など、農業者と消費者を近づける取組を実施